

2021年はスマホ資料の強化

- ・HP資料は、**パソコン**での学習を前提とした資料である(PDF打出可)。
- ・**スマホ**対応としては、「6章 スマホ対応1問1答」がある。
 - ⇒H21～R1までの全ての問題が1問ずつ見れる(H21は125問、同様にH21～R1あり)
- ・2021年1月からスマホ対応の2つの新しい講座を開始する予定である。
 - 2021年① スマホ対応「2章過去問20年の**ポイント一覧表の音声解説**」を開始予定
 - 2021年② スマホ対応「**項目別の音声解説**」を開始予定^{※1}

令和元年度 問題1	
建築及び都市の計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。	
1	ジョブポータルは、複数の人間が集まったときに、異なる方向に身体を向けずとも人と人でコミュニケーションがとれる空間をいう。
2	エコヘルバルデザインは、全ての生物を共生したものである。暑熱の対策、騒音の対策の選別、身体機能の改善に際して、可視化が可能な利用であるデザインをいう。
3	パンダデザインは、建築物自体の配置・形状、窓の大きさ等を工夫することにより、建築物内外にもとる熱や気流や光等の流れを制御し、暖房・冷房・換気設備等を積極的に活用する。
4	ガーデンプレイスは、広義では、都市が抱える諸課題に対して、環境・健康・教育等を目的とした、市民参加型の活動、教育・健康増進等の目的を、市民の集まる空間として持続可能な都市又は地区をいう。
解答 (正解は1)	
1	複数の人間が集まったときに、異なる方向に身体を向けずとも人と人でコミュニケーションがとれる空間は、ジョブポータルでなく、ジネオホールである。
2	○
3	○
4	○
R1の計画の問題1	

※1:2021年②「項目別の音声解説」は、会員増加に伴い作成可能な外注費の範囲で少しずつ作成アップする(会費は全額を運営費へ充当する)。

1. 2021年(R3)はスマホ対応を強化

2021年1月から1級建築士(学科講座)として、次の2つの新しい講座を開始する予定である。

- ① 「2章過去問20年のポイント一覧表」に対するスマホ対応の**音声解説**を開始する予定
- ② 「7章項目別の重要解説」をベースに内容をまとめ直して、スマホ対応の**音声解説**を開始する予定

研究会は、利益を追求する企業ではないので、会員の増加により貯蓄した会費を全額運営費へ還元する。①と②は外注費がかかるため、①は2021年中に全てアップする予定であるが、②は相当額の外注費が必要であることから、貯蓄された金額に併せて可能な範囲で少しずつアップする予定である。

2. スマホ&パソコン学習の勧め

建築業界は、本当に忙しい。その中で、合格率10～20%の1級建築士(学科)に合格するには、学習法を「工夫」しなければならない。一般書籍の「項目別解説書」や「過去問7年間の解答書」をひたすら学習する等では、合格率10～20%を突破できない。⇒項目別解説書はあまりに情報量が少なすぎるし、過去問学習で学科を突破するには、過去問20年の学習は必要である。資格学校に通学しても合格できるとは限らない。⇒週1通学の共通学習法では、合格率10～20%突破は厳しい(通学受講料もあまりに高額)。合格するには、万人に平等の「時間」を、自らの意思で少しでも1級建築士の学習に割振り、効率よく学習する必要がある。研究会は、HPの内容を何時でも何処でも効率よく学習できるようにするため、「スマホ&パソコン」でHPを見れるようにした。なお、全ての資料はPDFであるので、印刷して持ち歩くこともできる。※1級建築士は、受験すると決意した瞬間から、持ちうる全ての時間をかけて学習しないと合格できない。

(1) スマホ学習の勧め

- ・スマホ学習とは、何時でも何処でも学習できるスマホを活用し、HP内容を学習することである。
- ・その学習例は、以下の通り。
 - ① 通勤中の**電車内**でスマホ学習(通勤電車時間が30分なら往復で毎日1時間の学習)
 - ② **待合せ**時間にスマホ学習(集合時間に少し早く着いた場合、5分でもよいので、その時間を活用して学習)
 - ② **トイレ**の中でスマホ学習(午前1回15分、午後1回15分、毎日必ずトイレに籠ってスマホ学習＝習慣化させる)

(2) パソコン学習の勧め

- ・パソコン学習とは、自宅や会社のパソコンを活用して、HP内容を学習することである。
 - ・その学習例は、以下の通り。
 - ① 自宅のパソコンで**土日祭日**にHPパソコン学習(休日は朝起きてから食事トイレ以外の全ての時間をHP学習可)
 - ② 会社のパソコンで**昼休み**にHPパソコン学習(昼食30分終了での30分学習＝書籍不使用＝周囲に配慮した学習)
 - ③ 会社のパソコンで**勤務時間中**にHPで、勤務中に建築一般知識の調査としてHP活用学習(業務&1級の同時進行)
- ※全ての資料(PDF)は、カラーコピーで打出してから学習することも可能⇒パソコン学習&ペーパー学習の同時進行

(3) 「1級建築士の学科試験」を突破するには

- ・学科試験は、過去問20年を学習すると、100点超えが可能である(別資料「100点超えが可能」参照)。
 - ・他方、市販書籍で過去問20年を単純に解くのでは、非常に時間を要する(そもそも過去問20年の書籍を探すのが大変)。
 - ・研究会は、過去問20年を項目別一覧表にまとめており、この資料を活用することで効率よく学習することができる。
 - ・更に、効率を高める学習法としては、**スマホ&パソコン**学習が有力である。
- ※学科試験は、資格学校へ通学しなくても合格できる(資格学校への通学時間も学習に充てる方が高得点に繋がる)。